

和地ひとみレポート No.117

第3回東大和市グルメコンテスト『うまかんべえ～祭』が終了。
昨年にも増す来場者数。
イベントとしての成長を目指せば良いのでは。



■第3回うまかんべえ祭に多くの方が来場

…4月26日、27日の2日間、都立東大和南公園にて第3回東大和市グルメコンテスト『うまかんべえ～祭』が開催されました。2日間とも好天に恵まれ、昨年の来場者数を超える約37,500人という多くの方が会場を訪れ、イベントを楽しみました(来場者数は実行委員会の速報)。会場には、グルメコンテストの参加グループのブースの他に、協賛企業のブースの他、友好都市である喜多方市の物産店などもあり35のブースが設置され、和地ひとみも東大和市農業委員会の一員として喜多方市の農産物の販売コーナーの応援で参加しました。

…特に、2日目の27日には上北台駅をスタートとし、郷土博物館、空堀川、高木神社をめぐり、うまかんべえ～祭の会場をゴールとした「祭食健美：うまかんべえ～ウォーキング」も同時開催されたこともあり、ウォーキング参加者の方がゴールに着く昼頃には会場は沢山の人で埋め尽くされ、会場の活気も昨年以上のものでした。その他にも、運動広場では「キッズ&ジュニア走り方教室」「大人のランニング教室」のイベントも開催されました。また、メインステージでは、和太鼓、ダンス、コーラス、楽器演奏などの市民団体によるパフォーマンスとともに、よしもと芸人をゲストMCとし、26日には4月から市民会館「ハミングホール」の指定管理者となった株式会社JTBコミュニケーションズの運営する音楽レーベル「JTB MUSIC」所属のガールズポップグループ「Ring-Trip」が、2日目は打楽器を演奏するプログループ「パーカッション・シアター・ギミック」が演奏。メインステージも様々な出し物で盛り上がりを見せていました。

■今年の入賞者は

…うまかんべえ～祭はグルメコンテストということもあり、参加グループが工夫をこらした料理を食べた方の投票により順位が決められるコンテスト。今年第1回のグランプリメニューだった南親会の「大和どん」(地元の梅をアクセントにした唐揚げ丼)と第1回3位、第2回2位に入賞した向原親和会の「自慢の逸品じゃがまる君」(揚げじゃが串)は特別出展としてコンテストの対象外とされましたが、昨年からは市内の商店、飲食店も3店舗コンテストに参加できるため、プロ、アマ混合でのコンテストとなっています。

…今年のグランプリは湖畔いきいきクラブの「ひがしやまとキーマカレー」。第2位は駅の近くにある中華料理

店空龍(クーロン)の「ゴマダレ水餃子」、第3位は4小おやじの会の「ちゃ茶クレープ」に決定。入賞した団体の皆さんはとても嬉しそうで、チーム全体で喜びを分かち合っていました。また、来場されている方々も、屋外での食のイベントを思い思いに楽しんでおり、昨年よりもピクニックシート持参で遊びに来ているという感じの方も多く目にしました。

■笑顔になるイベントとして

…そもそも、このグルメコンテストは尾崎市長が就任時に所信表明で地域の活性化への取組みとして挙げた「東大和ならではのウルトラCグルメの開発」がきっかけとなってスタートしたイベントです。今回のプログラムにも『うまかんべえ～祭とは東大和の“ひとの魅力と食文化”を活かして、まちを明るく元気にしよう」と企画された「食の祭典」。食べたみんなが笑顔になる「これぞ東大和!」と呼ぶにふさわしい「ご当地グルメ」を市民総出で作り上げるお祭りです。』と書かれています。

…議会でも多くの議員がこのお祭りの今後の方向性について質問で取り上げており、答弁の中では「第3回で最終的なご当地グルメを決定する予定」ということも発言されていました。しかし、最近では、実行委員会の皆様にお任せするという答弁も聞かれるようになり、この祭りの方向性も少し変わってきているように感じます。…東大和を代表するものに狭山茶がありますが、例えば立川のように「うどん」が名産といったような市ならではの特徴的な産物として強く位置づけ、そこから様々な形に波及するというところまで行っていないと感じます。このような状態で「これぞ、東大和!」と感じる料理や、その料理を求めて市外からも多くの方が訪れるというところまで、メニューを育て、広げていくということは大変なこと。うまかんべえ～祭の目指す「これぞ、東大和!」というご当地グルメを作り上げるには、もっと大きな仕掛けや体制が現実的には必要だと思います。しかし、今回、会場で2日間見ていた限りでは、会場にいる人は参加者も来場者もとても楽しそうだったということ。そうであるのなら、ご当地グルメの開発と言わずとも、地域の食の祭典イベントとしての成長を目指す方が自然ではないかと感じました。来年のうまかんべえ～祭がどのような形になるかは未定ですが、より多くの市民の方が楽しみにするイベントになれば…と願っています。

ちょこバスのルート変更は？料金改定は？

今年12月のルート変更を目指して審議が進む



…市民の日常の交通手段として活用されているコミュニティバス「ちょこバス」。このルートについては、様々な意見が出ていると同時に、赤字経営も問題になっているところだ。

市では、市の実情を踏まえ、コミュニティバスの運行形態や、他の交通機関との乗り継ぎ等について検討するとともに、公共交通の利用をより便利なものとするため、事業者や利用者、関係機関等で構成する東大和市地域公共交通会議を平成24年に設置し、協議を行っています。

…そして、この度、3月27日に開催された「東大和市地域公共交通会議」にて、ルート変更案が承認をされたことが市より発表されました。今後はこの会議にて、運賃などの検討を行い、早ければ今年の12月にはルート変更を行えるように見直し作業をすすめていくとのことです。

…以前、このレポートでも述べましたが、コミュニティバスは、利用する側が便利だと感じなければ、利用者数は伸びません。現在は、外回り、内回りというルートの他に「朝晩時刻表」「昼時刻表」とあり、朝便で目的地に行き、昼時刻表の時間帯に帰りのバスを利用しようとしても対応していないバス停があるなど、不便な状況で運行されています。また、他の公共交通機関との兼ね合いで、東大和市駅には乗り入れることができない等の問題もありました。

今回のルート見直しでは、利用者のニーズをより反映させて利便性を高めるとともに、赤字にならないため、また、他の公共交通機関との兼ね合いも考えるなどし、利用者が長きに渡り安定的に利用できるように料金設定も実現させていくべきだと思います。

…今回のルート変更案では武蔵大和駅から湖畔、芝中団地を通り、上北台駅から市役所を経由するルートと玉川

上水駅から南街を通り、市役所、向原を経由して東大和市駅に行くルートと2ルートが設定され、市役所で乗り継ぐと、市内のたまかな場所が網羅されている案になっています。しかし、一方で、他の公共交通機関と合わせても「公共交通空白が認められる地域」となるのが高木、狭山の一部、芋窪の一部。

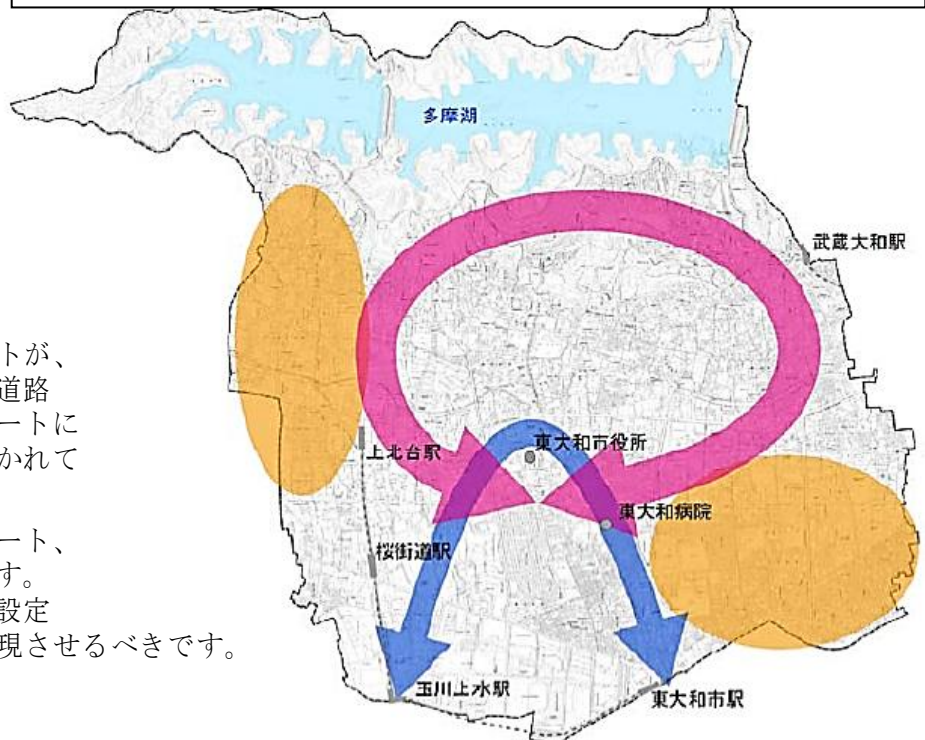
また、多摩湖自転車道周辺の地域は生活交通導入検討の機運がある地域として挙げられています。

その他にも観光地である多摩湖に向かうルートについて今後検討するルートが、設定されているほか、武蔵大和駅前の道路整備の状況により武蔵大和駅周辺のルートについても検討を行うとの注意書きも書かれていました。

…上記の通り、現在のちょこバスのルート、経営状況は早期に改善が必要な状況です。今年12月のルート変更とともに料金設定なども検討し、1日でも早く変更を実現させるべきです。

H24年1月に発表された市民意識調査で出された

大まかなルート変更の検討案



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102